

中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（2019年7月～9月期実績、2019年10月～12月期見通し）

1 県内商工会地区における産業全体景況

産業全体のすべて指標が2期連続で低下































今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△20.9、採算D Iが△25.3、資金繰りD Iが△17.0となり、対前期比でそれぞれ、4.8ポイント、3.0ポイント、1.3ポイント減少し、すべての指標で低下した。産業別では、建設業とサービス業の各D Iで悪化・低下が目立つ結果となった。

次期予想は、売上額D Iが更に4.9ポイント低下するものの、採算D I、資金繰りD Iは小幅に好転する見通しである。

産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △20.9（対前期比 △4.8 低下） 次期予想 △25.8（対前期比 △4.9 低下）
- ・採算D I △25.3（対前期比 △3.0 低下） 次期予想 △23.6（対前期比 1.7 好転）
- ・資金繰りD I △17.0（対前期比 △1.3 低下） 次期予想 △16.8（対前期比 0.2 好転）

産業全体景況天気

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年10月～12月		△14.6 		△23.1 		△8.6 
2019年1月～3月		△11.4 		△19.4 		△8.6 
2019年4月～6月		△16.1 		△22.3 		△15.7 
2019年7月～9月		△20.9 		△25.3 		△17.0 
2019年10月～12月 （見通し）		△25.8 		△23.6 		△16.8 

2 業種別景況

(1) 製造業

製造業は売上D I と採算D I が低下
















製造業では、売上額D Iが△28.6ポイントとなり、対前年比で2.8ポイント低下し4期連続してマイナス幅が拡大した。採算D Iは△32.4ポイント、対前期比で△0.1ポイント低下したが、資金繰りD Iは△15.2ポイントで対前期比、5.4ポイント好転した。

次期は、売上D Iが小幅に低下し、採算D Iが大幅に好転、資金繰りD Iが小幅に上昇する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △28.6 (対前期比 △2.8 低下) 次期予想 △31.4 (対前期比 △2.8 低下)
- ・採算D I △32.4 (対前期比 △0.1 低下) 次期予想 △24.2 (対前期比 8.2 好転)
- ・資金繰りD I △15.2 (対前期比 5.4 好転) 次期予想 △12.1 (対前期比 3.1 上昇)

製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	変動	天気	変動	天気	変動
2018年10月～12月		△2.9 ↓		△26.5 ↓		△11.7 ↓
2019年1月～3月		△8.9 ↓		△11.8 ↑		△6.0 ↑
2019年4月～6月		△25.8 ↓		△32.3 ↓		△20.6 ↓
2019年7月～9月		△28.6 ↓		△32.4 ↓		△15.2 ↑
2019年10月～12月 (見通し)		△31.4 ↓		△24.2 ↑		△12.1 ↑

(2) 建設業

建設業は全てのD Iで悪化・低下































建設業では、売上額D Iが0.0、採算D Iが $\Delta 20.0$ 、資金繰りD Iが、 $\Delta 20.0$ 、で対前年比でそれぞれ、 $\Delta 11.5$ ポイント、 $\Delta 8.5$ ポイント、 $\Delta 4.6$ ポイント悪化・低下した。

次期は、売上額D Iが大幅に低下し、採算D Iが横這い、資金繰りD Iが大幅に好転となる見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 0.0 (対前期比 $\Delta 11.5$ 悪化) 次期予想 $\Delta 19.2$ (対前期比 $\Delta 19.2$ 低下)
- ・採算D I $\Delta 20.0$ (対前期比 $\Delta 8.5$ 悪化) 次期予想 $\Delta 20.0$ (対前期比 0.0 横這)
- ・資金繰りD I $\Delta 20.0$ (対前期比 $\Delta 4.6$ 低下) 次期予想 $\Delta 12.0$ (対前期比 8.0 好転)

建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年10月～12月		$\Delta 16.0$ 		$\Delta 16.0$ 		$\Delta 4.0$ 
2019年1月～3月		8.8 		$\Delta 12.0$ 		0.0 
2019年4月～6月		11.5 		$\Delta 11.5$ 		$\Delta 15.4$ 
2019年7月～9月		0.0 		$\Delta 20.0$ 		$\Delta 20.0$ 
2019年10月～12月 (見通し)		$\Delta 19.2$ 		$\Delta 20.0$ 		$\Delta 12.0$ 

(3) 小売業

小売業では売上D Iが小幅の好転































小売業では、売上額D Iが $\Delta 27.0$ ポイント、対前期比 0.1 ポイント小幅に好転したが採算Dと資金繰りD Iは、それぞれ $\Delta 29.2$ ポイント、 $\Delta 18.7$ ポイントで前期から変化が見られず横這い状態であった。

次期は、売上額D Iと資金繰りD Iで大幅に悪化し、採算D Iは大幅に好転する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 27.0$ (対前期比 0.1 好転) 次期予想 $\Delta 32.0$ (対前期比 $\Delta 5.0$ 悪化)
- ・採算D I $\Delta 29.2$ (対前期比 0.0 横這) 次期予想 $\Delta 23.9$ (対前期比 5.3 好転)
- ・資金繰りD I $\Delta 18.7$ (対前期比 0.0 横這) 次期予想 $\Delta 24.0$ (対前期比 $\Delta 5.3$ 悪化)

小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年10月～12月		$\Delta 16.7$ 		$\Delta 36.2$ 		$\Delta 16.6$ 
2019年1月～3月		$\Delta 14.9$ 		$\Delta 34.0$ 		$\Delta 17.4$ 
2019年4月～6月		$\Delta 27.1$ 		$\Delta 29.2$ 		$\Delta 18.7$ 
2019年7月～9月		$\Delta 27.0$ 		$\Delta 29.2$ 		$\Delta 18.7$ 
2019年10月～12月 (見通し)		$\Delta 32.0$ 		$\Delta 23.9$ 		$\Delta 24.0$ 

(4) サービス業

サービス業は採算D Iが4期連続で低下































サービス業では、売上額D Iが $\Delta 20.6$ 対前期比で $\Delta 6.5$ ポイント悪化し、採算D Iは $\Delta 21.1$ ポイント、対前期比 $\Delta 4.2$ ポイントで4期連続してマイナス幅が拡大し、資金繰りD Iは $\Delta 15.8$ ポイント、対前期比 $\Delta 4.3$ ポイントで3期連続してマイナス幅が拡大した。

次期予想は、売上額D I、採算D I、資金繰りD Iとも全てのD Iで、小幅に低下する見通しである。

主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I $\Delta 20.6$ (対前期比 $\Delta 6.5$ 悪化) 次期予想 $\Delta 21.4$ (対前期比 $\Delta 0.8$ 低下)
- ・採算D I $\Delta 21.1$ (対前期比 $\Delta 4.2$ 低下) 次期予想 $\Delta 24.3$ (対前期比 $\Delta 3.2$ 低下)
- ・資金繰りD I $\Delta 15.8$ (対前期比 $\Delta 4.3$ 低下) 次期予想 $\Delta 16.0$ (対前期比 $\Delta 0.2$ 低下)

サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2018年10月～12月		$\Delta 18.0$ 		$\Delta 15.3$ 		$\Delta 4.1$ 
2019年1月～3月		$\Delta 16.9$ 		$\Delta 15.9$ 		$\Delta 7.1$ 
2019年4月～6月		$\Delta 14.1$ 		$\Delta 16.9$ 		$\Delta 11.5$ 
2019年7月～9月		$\Delta 20.6$ 		$\Delta 21.1$ 		$\Delta 15.8$ 
2019年10月～12月 (見通し)		$\Delta 21.4$ 		$\Delta 24.3$ 		$\Delta 16.0$ 

3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	14.3%	工場建物、生産設備 OA機器、車両運搬具 その他	14.3%	生産設備、車両運搬具 OA機器
建設業	0.0%	該当なし	11.5%	建設機械、車両運搬具 OA機器
小売業	12.5%	店舗、車両運搬具 付帯施設、OA機器 その他	12.5%	店舗、販売設備 車両運搬具、付帯設備 OA機器
サービス業	13.0%	土地、建物、サービス 車両運搬具、OA機器、 その他	10.0%	土地、建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他

4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	需要の停滞	25.8%
	2位	原材料価格の上昇	16.1%
	3位	製品ニーズの変化	12.9%
		生産設備の不足・老朽化	12.9%
		従業員の確保難	12.9%
建設業	1位	請負単価の低下・上昇難	26.3%
	2位	材料価格の上昇	21.1%
	3位	大企業の進出による競争の激化	10.5%
小売業	1位	消費者ニーズの変化	17.5%
	2位	販売価格の低下、上昇難	15.0%
	3位	仕入単価の上昇	12.5%
		需要の停滞	12.5%
サービス業	1位	材料等仕入単価の上昇	23.7%
	2位	利用者ニーズの変化	18.6%
		店舗施設の狭隘・老朽化	18.6%

中小企業景況調査について

1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

2 調査要領

(1) 調査対象時期

2019年7月から9月の第2四半期を対象とし、調査時点は2019年9月1日。

(2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業25企業、小売業48企業、サービス業72企業)。

(3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加（上昇、好転）企業割合から減少（低下、悪化）企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

令和元年10月11日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041